



平成21年11月2日

第7号

宮城教育大学ESD・RCE推進会議から、学内外のESD・RCEの取り組みやニュースをお知らせします。

宮城教育大学が文部科学省へ申請していましたが、「日本/ユネスコ パートナシップ事業」が採択されました。実施に際しまして、皆様のご協力を賜りたくよろしくお願いいたします。

- ☆事業名称** 「ASPUnivNet の連携強化と加盟大学をハブとするユネスコ・スクール地域拠点の形成」 ※ASPUnivNet (ユネスコ・スクールネットワーク支援大学間ネットワーク)
- ☆事業の形態** 「研修セミナー」及び「交流活動」による国内 ESD 実践ネットワークの構築
- ☆事業の目的** ASPUnivNet 加盟大学を地域拠点としたユネスコ・スクール・ネットワークを構築し、ESD 推進のアジア・モデルを創出する。本事業は、3年間の継続事業の1年目の事業として位置づけることができる。今回の事業は、日本国内のASPUnivNet と ASPnet がネットワークを形成し、互恵関係の下にモデル実践プログラムを作成するという1年完結型の事業である。
- ☆共催機関** 北海道教育大学釧路校、岩手大学、東北大学環境科学研究科、玉川大学教育学部、金沢大学、奈良教育大学、岡山大学（9月5日の会議で、九州大学大学院言語文化研究院、立教大学 ESD 研究センター、三重大学の参加が承認されました）

I. これまでの ESD 関連事業報告

1. 第9回 いぐねの学校（7月25日・土 洞口家（国指定）有形文化財建造物）

仙台いぐね研究会主催の「第9回いぐねの学校」が開かれました。前日までの雨が上がり、当日はかなり暑い一日でしたが、子どもたちは、1時間目・いぐねの植物（杉、ケヤキ、椿など）、2時間目・いぐねの生き物（ドジョウ、カエル、ザリガニなど）、3時間目・いぐねの給食（豆腐、ずんだ、きなこなど）、4時間目・草木染め（藍、たまねぎ、マリーゴールドなど）と閉会式が終わるまで、大学生のお兄さん、お姉さんと一緒に活動・実践し、大変楽しそうでした。



2. 第24回 日本国際保健医療学会 (8月4日・火～5日・水)

本学共催の日本国際保健医療学会が仙台にて開催。4日の市民公開講座(せんだいメディアテーク)では、市瀬准教授がコメンテーターとして参加しました。

また、翌日のシンポジウム「私たちはなぜ世界の人々に感心を持つのか?—いまあらためて国際貢献の意味を考える—」の中の、「国連持続可能な開発のための教育(ESD)による国際協力の進め方」において、国連大学高等研究所の望月先生と一緒に、齊藤千映美教授が本学の取り組みを発表しました。



3. ASPUnivNet 第一回連絡会議 (9月5日・土 東京国際交流館)

ASPUnivNetの第1回連絡会議が2009年9月5日に開催、新たに3大学が加わり、加盟大学は11大学となりました。(北から、北海道教育大学釧路校、岩手大学、東北大学大学院環境科学研究科、本学、立教大学ESD研究センター、玉川大学教育学部、金沢大学、三重大学、奈良教育大学、岡山大学、九州大学大学院言語文化研究院)

本会議では、大学、学部、研究科単位の参加以外にも、協力員(個人)としてのオブザーバー参加も認められ、協力しながら運営していくこととなりました。

なお、平成23年3月31日まで本学が事務局を担当することが承認され、第2回連絡会議は11月14日に岡山大学にて開催する予定です。



4. 学都仙台サテライトキャンパス公開講座 (9月12日・土)

仙台広域圏ESDプロジェクトとASPUnivNet加盟の東北大学大学院環境科学研究科・谷口尚司科長が学都仙台サテライトキャンパス公開講座「地球環境問題を考える」を開催、日本の四大公害(イタイタイ病・四日市ぜんそく・新潟水俣病・水俣病)の水俣病について、発病の経緯など詳細な報告がありました。

発行元：宮城教育大学 ESD・RCE 推進会議

5. ACCU/奈良教育大学主催「世界遺産と観光」国際フォーラム（9月13日・日）

ACCU(ユネスコ・アジア文化センター)と奈良教育大学の共催で行われた、国際フォーラム『世界遺産と観光』に参加する機会を得た。このフォーラムは、世界遺産を維持していく方法としての観光のあり方に注目して、世界遺産教育の方向性を考えようとするものであった。報告者は、インドネシア(インドネシア教育大学)、インド(デリー大学)、中国(華東師範大学)、韓国(嶺南大学)、奈良教育大学(附属中学校)島根県太田市(世界遺産・石見銀山遺跡)、奈良市(世界遺産・奈良)の5大学、2地域からであった。



奈良の世界遺産のシンボル 大仏殿



基調提案をする淡野副学長

6. 持続発展教育（ESD）と地域情報発信（10月17日・土）

学生・NPO・一般の方を対象に、本学において標記セミナーを開催しました。

I部では、八浪英明河北新報社企画委員と仙台広域圏ESD・RCE運営委員会小金澤孝昭委員長による討論会、II部では、「地域情報をどう取材し、どう発信するか?～そのテクニック～」を八浪英明企画委員に実際の新聞を資料にお話しいただきました。本学・東北大学・東北学院大学、宮城大学の学生を含む約40名が参加し、学生からの質問も多く充実したセミナーとなりました。



II. 今後の予定（詳しくは下記のホームページをご覧ください）

<http://kokusai.miyakyo-u.ac.jp/h21/ASPUnivNet/>

- ☆ 11月14日（土） ユネスコ・スクール全国大会（東京渋谷区）
- ☆ 11月14日（土） ASPUnivNet 第2回連絡会議（岡山大学）
- ☆ 11月21日（土） ユネスコスクール・フォーラム in 釧路（北海道教育大学）
- ☆ 11月24日（火） 宮城県南地域ワークショップ（予定）
- ☆ 12月19日（土） ESDセミナー in TAMAGAWA University(玉川大学)
- ☆ 12月23日（水） ASPUnivNet 関西ESD学習会(奈良教育大学)
- ☆ 12月26日（土）～28日（月） ダブルネット・ワークショップ（東京）

発行元：宮城教育大学 ESD・RCE 推進会議